

各部会報告資料

- ・子ども部会（P1）
- ・就労部会（P2～3）
- ・相談支援部会（P4～5）
- ・精神障がい者地域移行支援部会（P6～12）

平成28年2月19日

熊本市障がい者自立支援協議会

子ども部会報告

開催月	活動内容
12 月	<p>(1)余暇活動支援マップ作りのグループワーク</p> <p>スポーツ、文化、親の会の3グループに分かれて作業</p> <p>(2)ミニ研修「障がい児支援等の状況について」(保育幼稚園課)</p> <p>◇認定子ども園への移行状況及び今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定子ども園の4種類 ・待機児童の状況(熊本市397人。7~8割が3歳未満、全国でもワースト3に入る。) ・認定子ども園の障がい児支援について ・保育所等における障がい児支援について <p>◇熊本市児童発達支援ルームについて(つばめさんクラブ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100人の登録 ・保護者研修会・保育士実践研修会 ・訪問支援事業保育サポート <p>◇質問等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園への補助金の額や加配配置の意見書等について
1 月	<p>(1)余暇活動支援マップ作りのグループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ、文化、その他(親の会活動)に分けて現在シートに落とし込む作業中 ・子ども対象にしている余暇支援は少ない ・平成27年度中に完成予定 <p>(2)次年度子ども部会について(日程、内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度に取り扱うテーマとして、福祉サービスや地域生活支援事業に関する課題などが挙げられた。2月の部会で引き続き検討する(1月部会で出た内容として)。 <p>(例)通所支援以外の地域生活支援で、必要だが子どもだからということで給付されない制度がある(ホームヘルプなど)</p> <p>(例)児童発達支援の支給量が適正かどうか</p>

平成27年度 第4回熊本市障がい者自立支援協議会
就労部会報告

今年度の取り組みについて

今年度より当事者の方が参加し、これまで以上に取組内容が深まり活気のある部会となりました。また、システム開発や就労部会のホームページ作成、福祉サービス事業所のスキルアップを目的とした自己評価表の作成等、ニーズに応じたものを新たに創り出すことができました。さらには、各班が連携し、企業の雇用促進や一般市民の方々への雇用啓発、施設間の連携強化や工賃向上を目的とした「就労フェア」の開催を開催する予定となっており、就労部会全体としても連携を深めることのできた1年となりました。

【各作業班のび進捗状況】

企業就労班 i) 障がい者雇用をしている企業の事例を掲載した情報誌の作成（「しごといく Vol.4」）
ii) 企業セミナーの開催（平成28年2月予定）
iii) 一般就労への道筋マップの作成

福祉施設班 i) 福祉サービス事業所（A型事業所）の自己評価表の作成
→協力事業所の意見を発表し自己評価表を通して事業所のスキルアップを目指す研修会を開催予定（平成28年3月予定）
ii) 事業所間の連携を深め工賃アップを目指すための内覧会・商談会の開催（平成28年2月予定）
→内覧会・商談会の事前説明会を実施（10月1日）

当事者班 i) 当事者の方々の夢を実現する取組を実施（ネットラジオ放送）
ii) 学校訪問による障がいに関する意識調査を実施予定（小学校・高校）
iii) 当事者発信の研修会の開催（平成27年2月予定）

システム班 i) システムの新設
→各施設を紹介する「施設プラグ」を開設し、説明会を実施（複数回）
iii) 就労部会の取組についての広報活動
→ホームページを開設

【ミニ研修】

- ・全7回開催（3月に予定しているミニ研修会も含める）
- ・意見交換会「ICカードへの変更に伴う状況や課題について」を実施
- ・就労部会についてのアンケート調査を実施

今年度の今後の予定について

- 平成28年2月23日（火）に各班合同で当事者とサポーター（企業や施設）を対象とした「就労フェア」を開催予定
- 3月3日（木）に福祉施設班の主催で「自己評価表」についての勉強会を実施予定
- 3月の部会では年間報告と次年度の活動内容について検討予定

運営委員会の設置

各班のリーダー・サブリーダー、事務局である障がい保健福祉課とくまもと障がい者ワーク・ライフサポートセンター縁で構成された運営委員会を設置しております。昨年度に引き続き、運営委員会を中心に就労部会の状況に合わせたミニ研修を企画し開催しております。

平成 27 年度 第 4 回熊本市障がい者自立支援協議会 相談支援部会報告

1. 27 年度の部会活動内容について

今年度は、「福祉サービスを考える班」「情報更新班」「ワークショップ事例検討班」の 3 班に分かれ、社会資源の点検、熊本市の課題抽出、情報共有を行いながら、関係機関のネットワークによる支援体制が強化できるように取り組んできた。

26 年度まで、くらし部会で作成した「熊本市相談支援マニュアル」「グループホーム情報」「ヨカ余暇情報便利帳」は情報更新班で引き継ぎ、更新を検討・必要なものは更新を行っている。

熊本市の相談支援事業所は、今年度 2 ケ所増えて現在 40 ケ所となり、新規の相談支援事業所でも安心して相談者の対応が行えるよう、相談支援専門員の質の向上を目指したワークショップを行い、事業所間の連携を図る機会となっている。

2. 班ごとの活動報告及び反省

【福祉サービスを考える班】

関係者に協力を頂き、障害を持つ方が地域で生活をする中で「課題である」と感じている所についてアンケートを行った。それをカテゴリー毎に集計を行い、2 班で各課題について議論・検討を行った。班員の中でそれぞれの課題の共有ができ、それに付随することに関しても議論を深めることができた。

しかし議論を重ねる中で課題も浮き彫りになった。課題について解決策の模索等を行うが、各関係者からでてきた課題であるだけに、それを具体的に解決できる策が中々みつからないし、制度的な問題が絡むものについては単に相談支援専門員のみでは解決できないことが多かった。来年度はこの経験を生かし課題検討の方法について工夫をしなければと考えている。

【情報更新班】

くらし部会から引き継いだ「グループホーム情報」と「ヨカ余暇情報便利帳」の更新、昨年相談部会で作成した「Q & A 集」と「ハンドブック」の確認と更新を行う。

「計画相談の受け入れ状況」と「グループホーム情報」は K P 5000 の「相談プラグ」と「住まいプラグ」でタイムリーな情報が閲覧可能になった。

今後、ハンドブックや計画相談のマニュアル、インフォメーション機能も「相談プラグ」で見られるように検討。

グループホーム事業所への「住まいプラグ」掲載について説明会 10 月 21 日に開催。

【ワークショップ事例検討班】

ワークショップ事例作成班では、知的障がい者、精神障がい者、身体障がい者、児童の4ケースを架空の困難事例モデルとして作成して、5～6名のグループで事例検討を行い、サービス等利用計画案を作成。架空の事例で計画案を作成することは、基本情報、アセスメント票、サービス等利用計画案を持ち帰り、各事業所で振り返ることも出来て、各事業所でサービス等利用計画作成する時に参考になっているとの感想も見られ。今後、この架空事例は事例集としてまとめる方針にしている。

3. 平成28年度 活動計画

27年度は3班体制で取り組みましたが、1班の人数が多く活発な意見交換が出来ない時もあり、開催を兼ねる事に参加者も減少してきたので、28年度は班編成を細かくし、参加者全員が役割を持ちながら取り組める体制を検討。

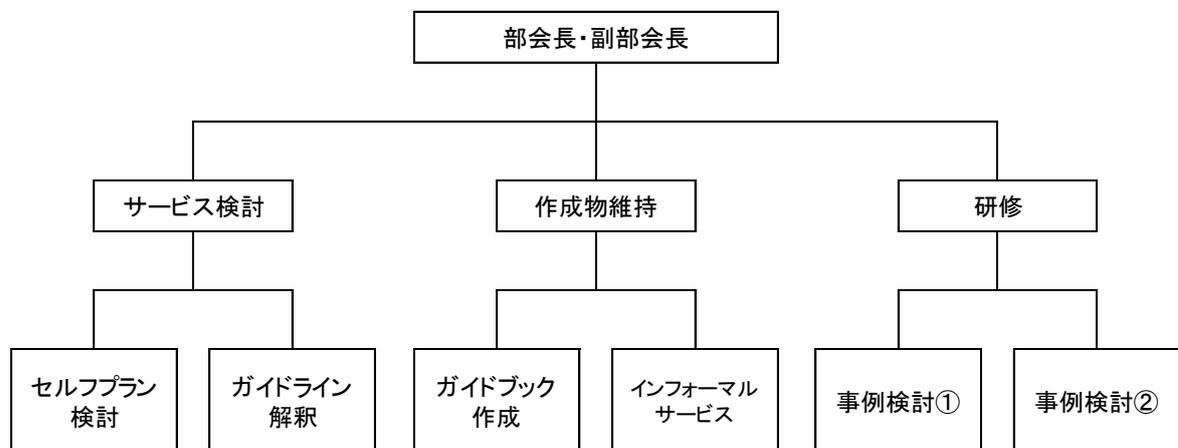
(会議運営)

- ・会議時間は2時間を基本とする。

前半：事例検討 後半：班別作業

- ・事例検討がない月は1時間半とし、空いた30分でコアメンバー会議を行う。

新年度の班構成（案）



平成 27 年度 第 4 回熊本市障がい者自立支援協議会
精神障がい者地域移行支援部会（障がい者自立生活体制検討会）報告

【今年度の主な取組】

- ・ 本人の移行に沿った退院支援の促進
医療機関の協力により長期入院患者への意向調査を実施（概要は別紙参照）。
- ・ 退院に向けての理解の促進
部会内で研修会の開催や・グループワークによる意見交換を実施。

	開催内容
5 月	事業説明・年間計画説明
6 月	医療機関・地域関係者のグループによる意見交換
7 月	テーマ：長期入院のイメージ、地域移行の阻害要因、医療と地域の連携等
8 月	ピアサポーターの活動報告と意見交換
9 月	研修会「看護の視点による地域移行・地域定着支援について」
10 月	相談支援事業所の活動紹介（熊本市障がい者相談支援事業、一般・特定相談支援）と意見交換
11 月	・ 高齢入院患者地域支援事業の事例経過報告（3 病院からの報告） ・ 地域移行支援のポイント説明（事例集を活用）
12 月	・ 意向調査の集計速報 ・ 「熊本県精神障がい者地域移行支援研修会」報告と意見交換（区毎の課題と取組案の確認）
1 月	・ 意向調査の結果分析に関する意見交換 ・ 研修会「城ヶ崎病院における地域移行支援について」
2 月	地域移行支援協議会開催
3 月	年度振り返り、次年度計画

【平成 28 年度の取組について】

3 月部会で、今年度の活動内容と次年度の取組に対する意見聴取を行い、具体的な活動案を検討する。

「長期入院精神障がい者の地域移行に関する意向調査」概要

〈調査目的〉

第4期熊本市障がい福祉計画掲げる平成29年6月末の長期在院者数の削減目標値の達成と、利用者の地域移行や地域定着の支援を行う地域相談支援の利用が伸び悩んでいるという実態を鑑み、長期入院者の地域移行を効果的に進めるために、長期入院中の精神障がい者に係る意向調査を実施し、今後の事業の方向性を検討するもの。

〈対象者〉

平成27年9月30日時点で1年以上精神科病院に入院されている患者
(主病名が認知症の方を除く。)

〈方法〉

- ・各病院において、上記対象者の中から20名程度を無作為抽出し、本人同意が得られた者に対して調査を実施。
- ・各病院に勤務する精神保健福祉士等により、調査票を用いてヒアリングを行う。
- ・調査票は、平成26年度に日本精神科病院協会が実施した調査票を基に、体制検討会で項目の再検討を行ったものを使用。

〈スケジュール〉

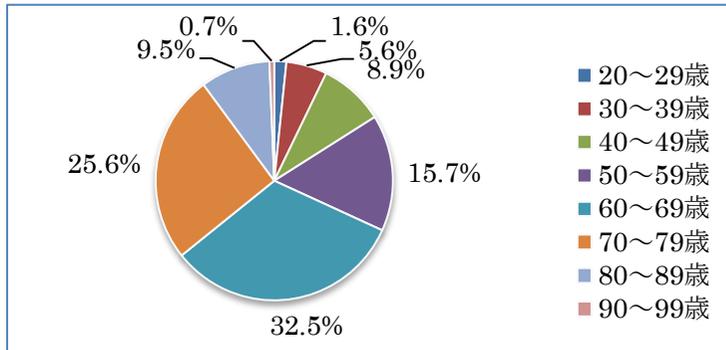
時期	内容
平成27年5月	調査実施について、精神障がい者地域移行支援部会（障がい者自立生活体制検討会）に説明
平成27年6月～8月	調査項目、実施要領についての検討・確定
平成27年9月	関係機関（市内精神科病院長、熊本県精神科協会、熊本県精神保健福祉士協会、日本精神科看護協会熊本県支部）へ協力依頼
平成27年10月	各病院での調査の実施
平成27年11月～12月	事務局で調査票回収、集計
平成27年12月	精神障がい者地域移行支援部会で集計速報値報告及び詳細分析項目（クロス集計）の検討
平成27年12月～平成28年1月	詳細分析（クロス集計）
平成28年2月	調査報告書原案検討
平成28年3月～6月	調査報告を踏まえた施策提言内容の検討

1 回答状況 回答者数 : 351人(18病院)

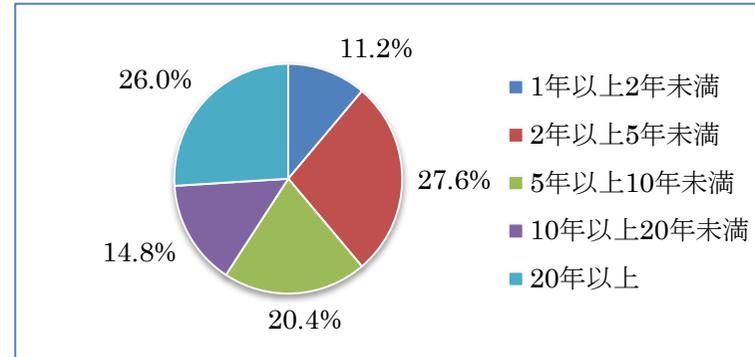
[参考] H27.6.30 現在入院者数(1年以上):1,649人

2 回答者属性

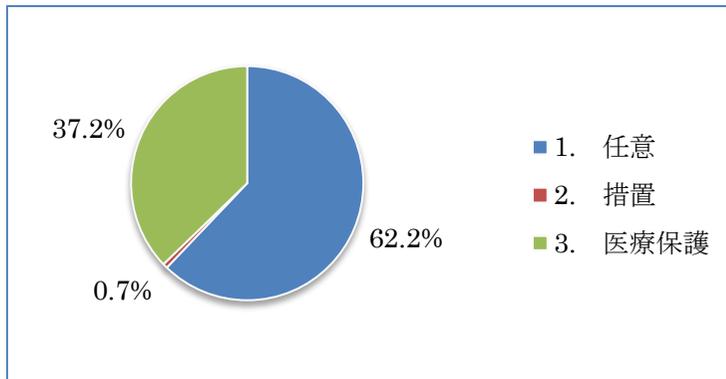
【年齢】



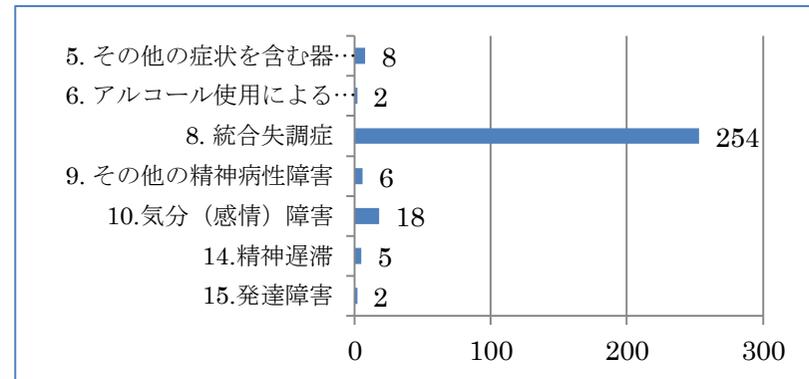
【入院期間】



【入院形態】

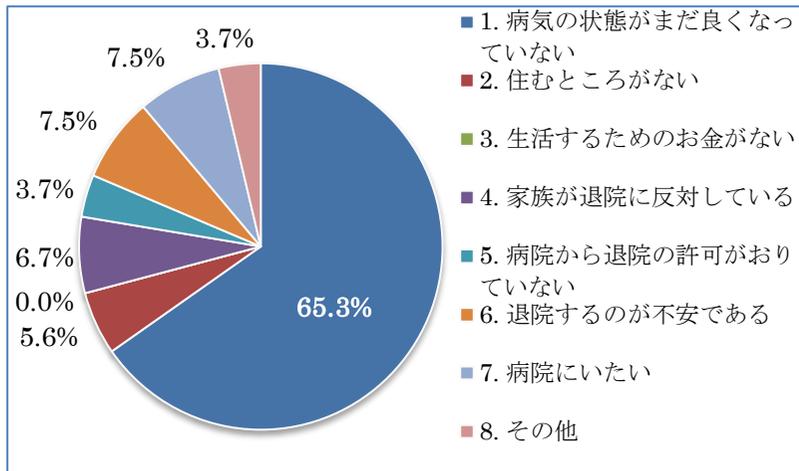


【主病名】

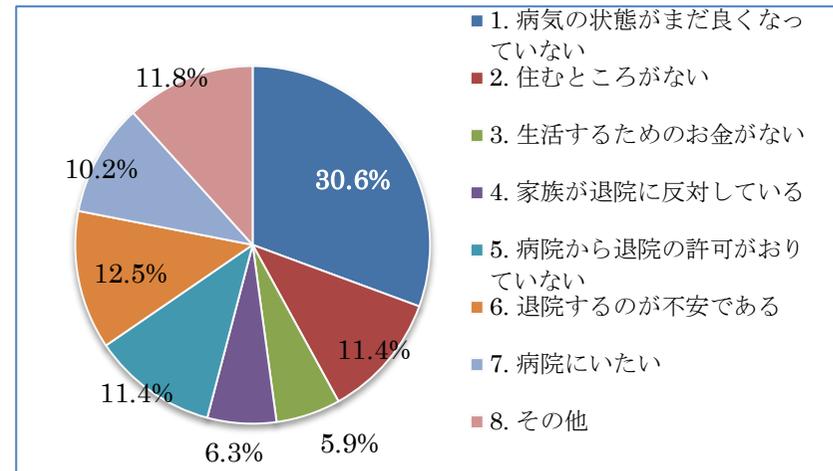


3 入院している理由

【病院】

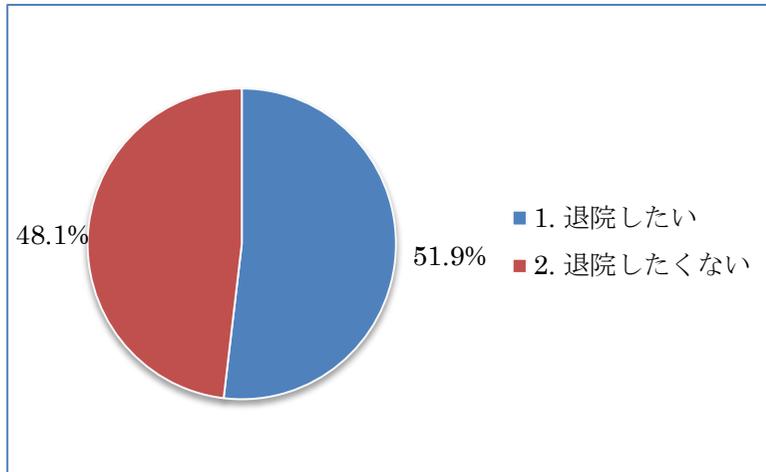


【本人】

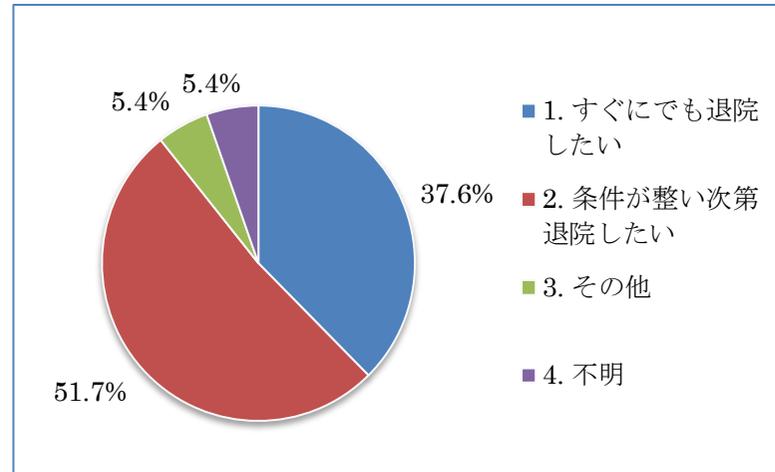


4 退院の希望と時期

【半年以内の退院希望】

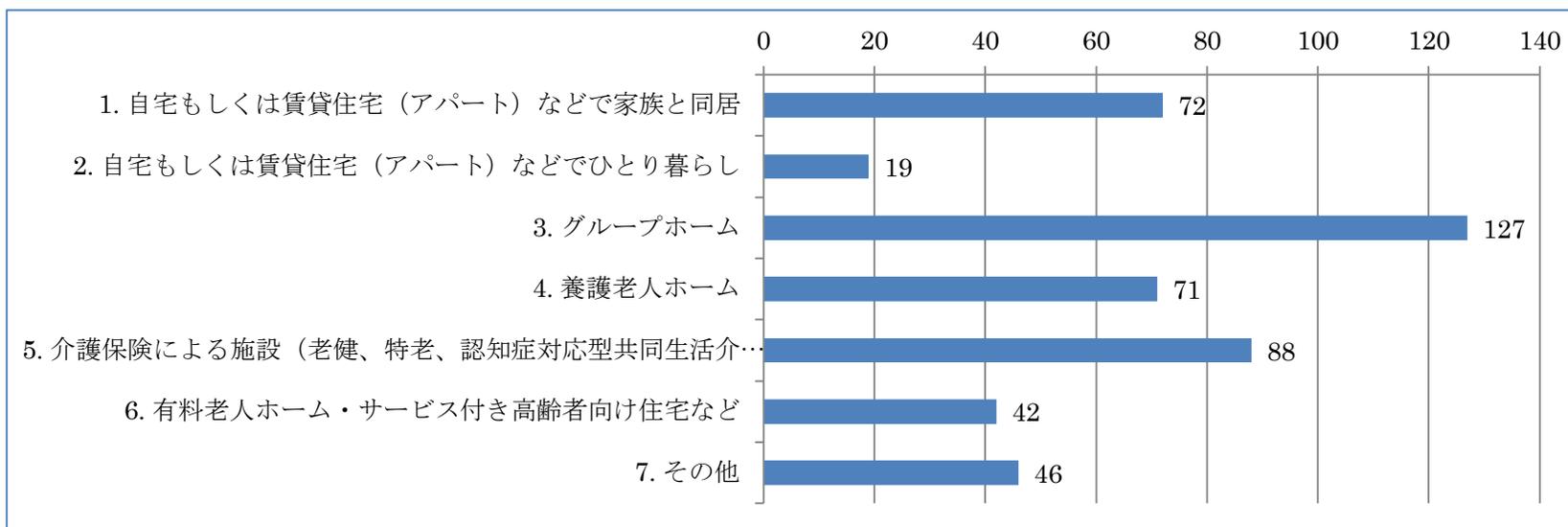


【希望する時期】

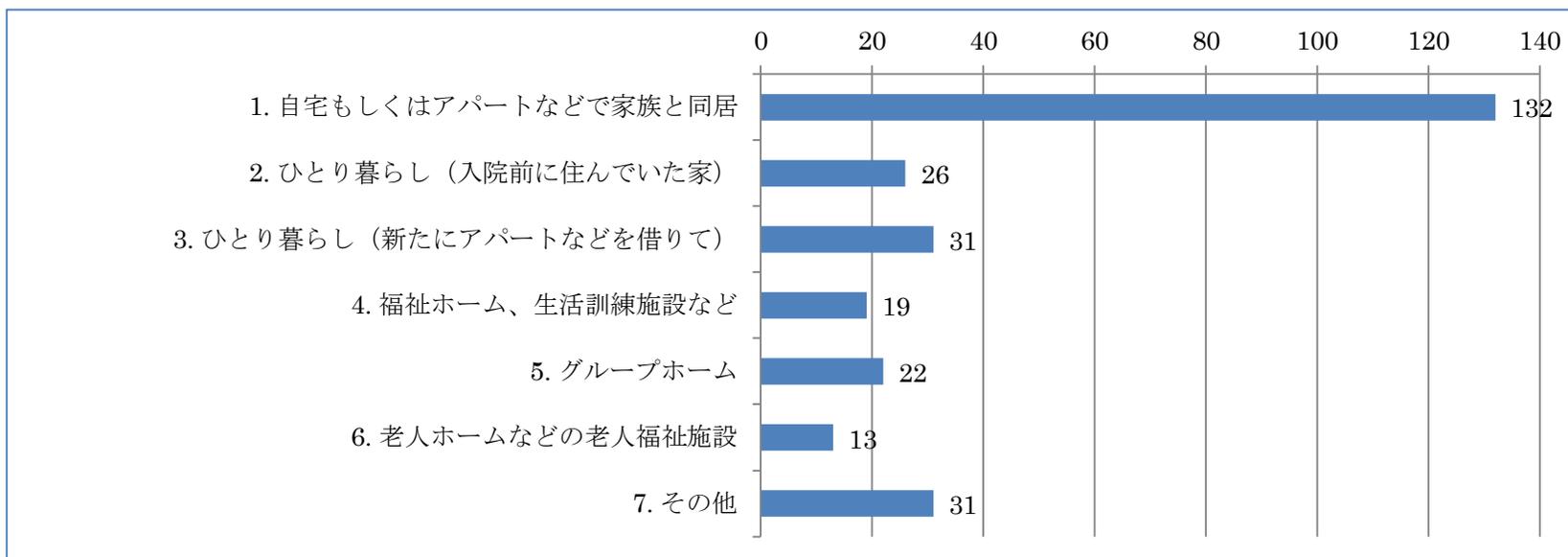


5 退院後の住まい(複数回答)

【病院の考え】

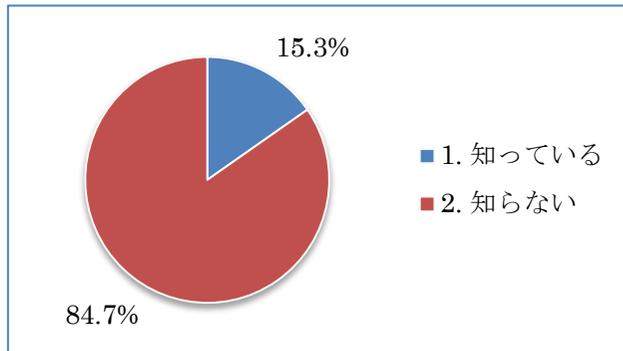


【本人の考え】

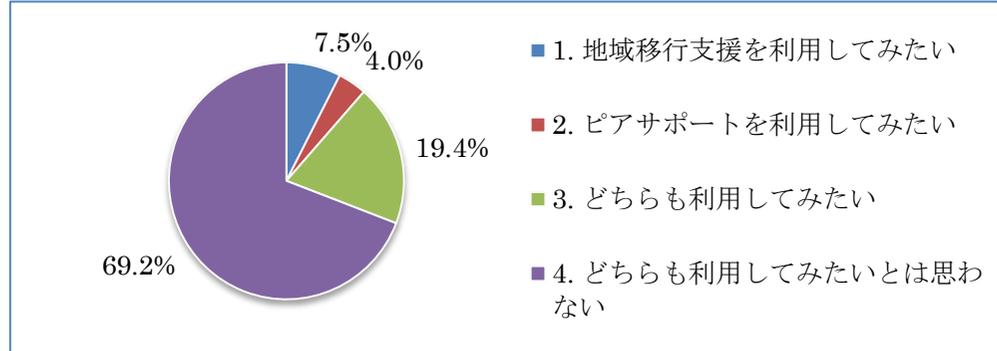


6 退院を支援する制度

【退院支援制度の認知度】

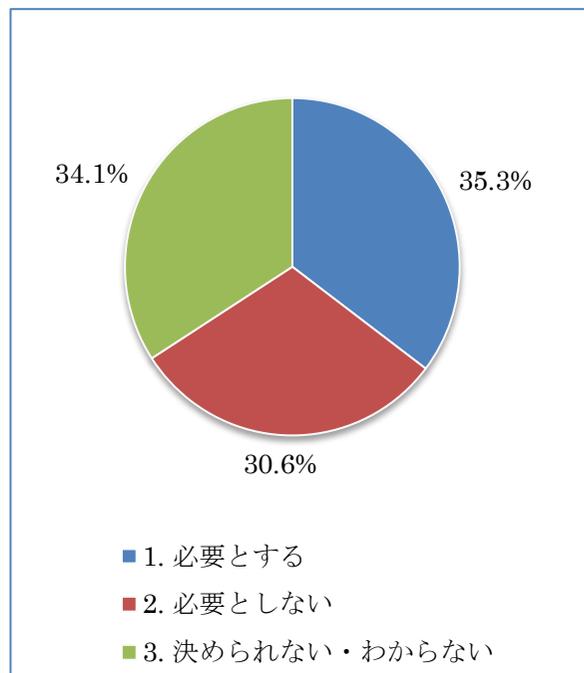


【制度の利用希望】

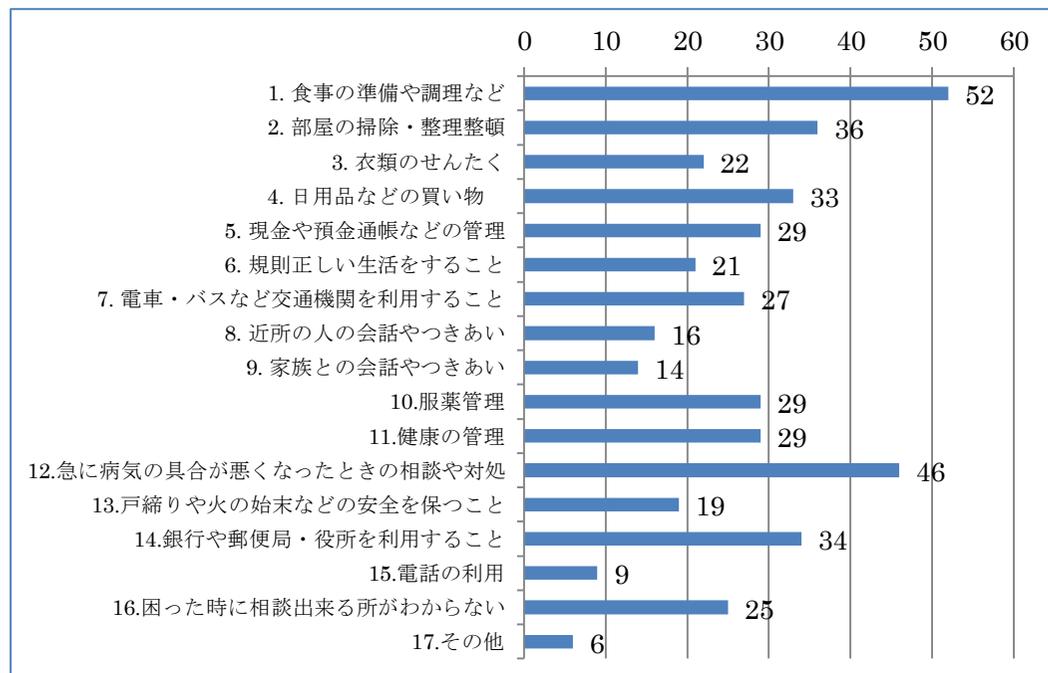


7 退院後のサービスや支援について

【サービス等の必要性】

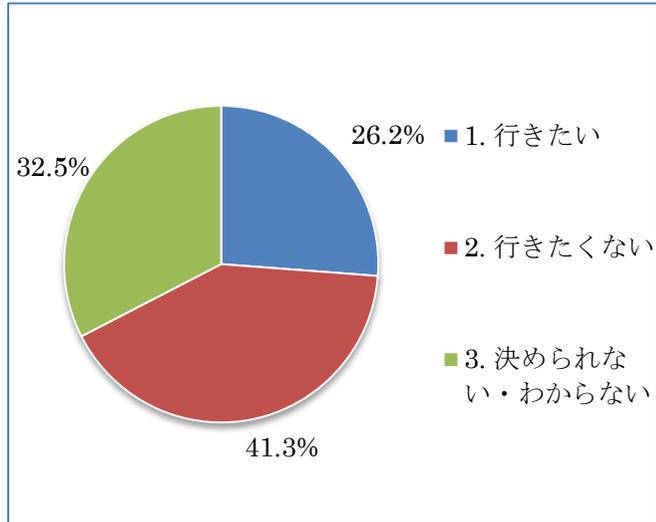


【必要とするサービス等】

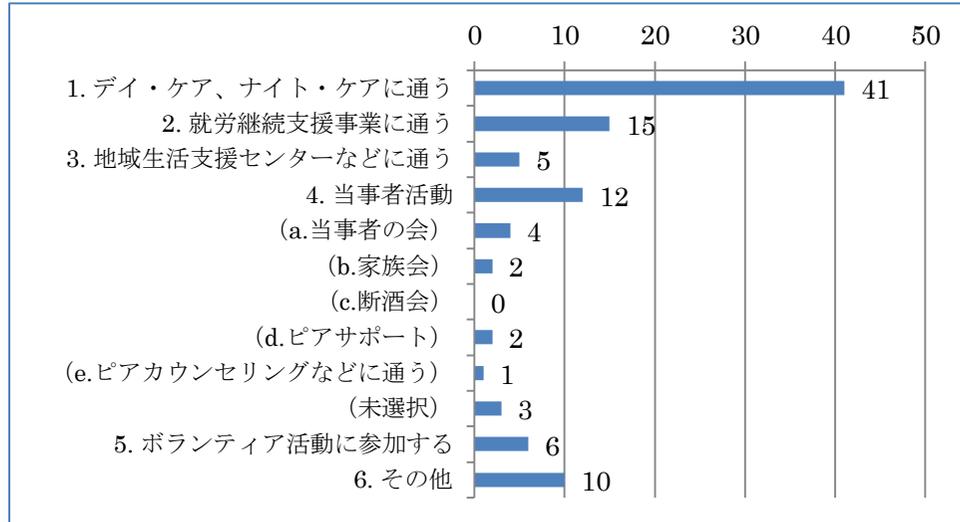


8 日中活動について

【参加の希望】

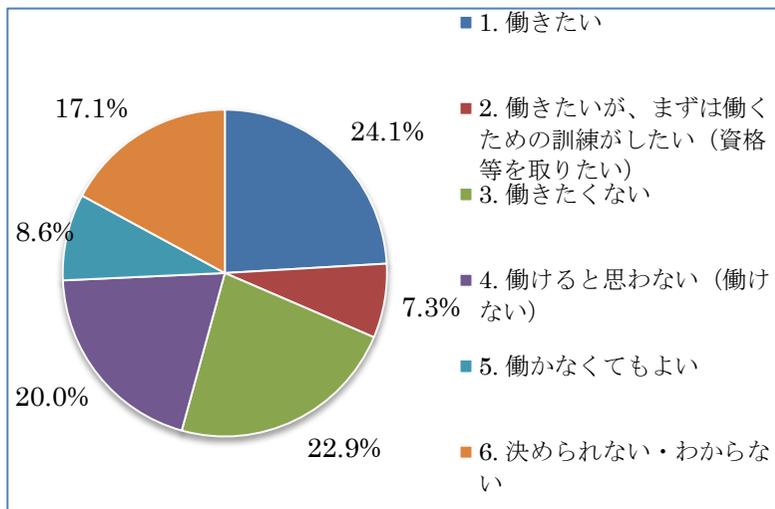


【参加したい活動】



9 就労について

【就労の希望】



【希望する勤務形態】

